

第八二號

1010



軍事課聯帶

大臣		件名		受番
		戦死者贈位並叙位進階内則中改正件		第三八九号
				廳名 人事局
次官	参事官	主務局長	主務課長	主務課員
高級副官	主計	主務副官		
聯帶局長				
聯帶課長				
審案筆記者				

海軍大臣、協議案

戦死者贈位並敘位進階内則中改正ノ件別裁ノ
通連署ヲ以テ閣議へ提出致度異存無之矣
得ハ捺印ノ上提出相成度及協議矣也

陸軍省

送甲第

九十九號

九月廿七日

高級副官ヨリ海軍省副官へ副書案

戦死者贈位並敘位進階内則中改正ノ儀ハ累ニ西大臣連
署ヲ以テ閣議へ提出相成矣処内閣書記官ヨリ協議
ノ次第ニ有之陸海軍両省当局者ト交渉ノ上別
裁改正案ヲ累ノ改正案ト引換提出ノ事ニ相成
矣間御承知有之度

請議案

陸軍省 送甲第九七の號

九月廿七日

戦死者贈位並敘位進階内則中別氣ノ通改正
相成度改正案及理由書ヲ具シ茲ニ閣議ヲ請フ

明治三十九年 月 日

海軍大臣

陸軍大臣

内閣總理大臣宛

陸軍省 送甲第九七の號

九月廿七日

戦死者贈位並敘位進階内則中改正案

戦死者贈位並敘位進階内則中在ノ通追加ス

案 電

第五條 第一條及第三條ハ金鷄勲章及旭日勲章ヲ敘賜シ其ノ功績ヲ表彰スル場合ニハ之ヲ適用ヤス但シ金鷄勲章敘賜條例第三條第四條及敘勲内則附表ノ定限ニ達シタル功級、勲等ヲ有スル者ハ之ノ限ニ在ラス

理由書

平時高等官在職十年以上ノ者病氣危篤等ノ場合ニ
在リテハ特ニ進位ノ御沙汰ヲ蒙リ又高等官ハ新任陞
等後一ヶ月判任官及陸海軍准士官下士ハ其在職
各一定ノ年限ヲ経過シ勤勞アル者ハ夫々叙位ノ御沙
汰ヲ蒙ルト雖モ戰時若ハ事変ニ際シ死歿シタル場
合ニ於テハ平時ニ倍蕙スル功績アルニ拘ラス此ノ恩
典ニ浴スル能ハス

贈位及位階追賜ハ金鷲勲章及旭日勲章叙賜
ノ場合ニ於テ全然併セ行ハサルトキハ金鷲
勲章叙賜條例及叙勲内則ノ定限ニ達シタル

功級及勲等ヲ有スル死没者ニハ終ニ其功績ヲ表彰
スル能ハサルニ至ル

上述ノ者ニ對シ功績表彰上遺憾ナカラシムル為ニハ
戦時若ハ事変ニ際シ表彰スヘキ功績アル者死没
シタル場合ニアリテハ文武官叙位進階内則ニ定ムル
所ノ年限ニ拘ラス官等相當ノ位記ヲ賜ヒ又ハ位一級
ヲ進メラレ其定限ニ達シタル功級勲等ヲ有スル者
ニハ贈位及位階追賜ニヨリテ其功績ヲ表彰セサ
ルハカラス故ニ此際本内則ヲ改正シテ今回戦没
ノ當初ニ溯リテ夫々此ノ恩典ニ浴セシムルヲ要
ス

官房第一。八五号ノ二

送甲第五六号ヲ以テ戦死者贈任并
叙位進階内則中改正ニ義旨恒儀ニ
趣了兼異存無之也条時段及回
答也

明治卅九年三月二十七日

海軍大臣 高橋 實

陸軍大臣 寺内 正毅 殿

昭和三年三月十八日
陸軍省 庶務課 係書

陸 軍

未結

軍事課連帶

閱

受領 陸軍省 領貳第三八九號

人事局

件名 戦死者贈位兼叙位進階内則中改葬件

査

査



高級副官



決

決

参事官



主務官



主務官

主務 特勲五三三

局 領 三月 九日

課 領 三月 九日

大領 三月 十日

官 領

長 局 領



主務官

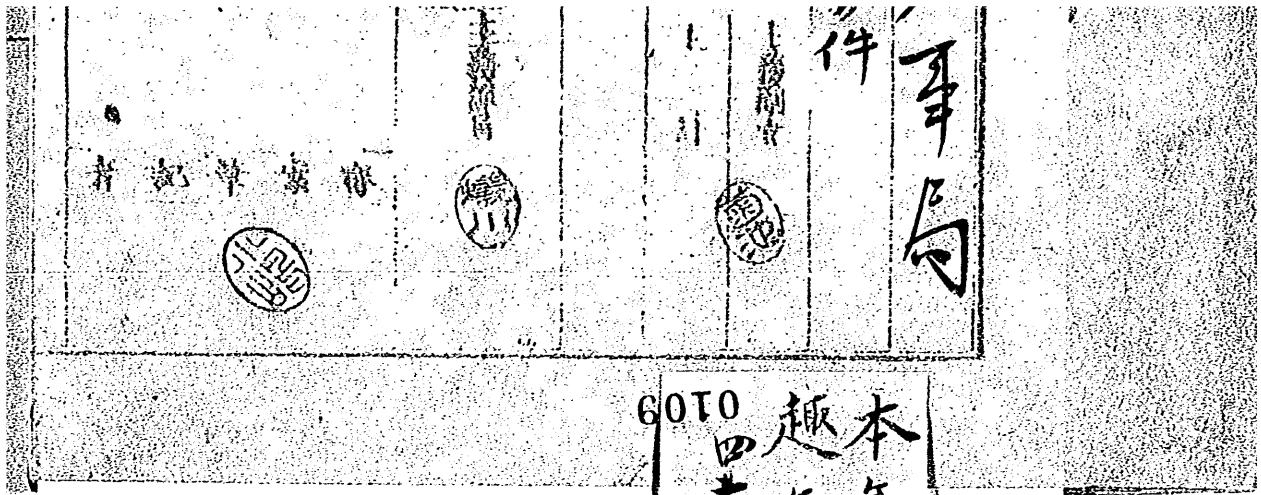


主務官



8010

本年五月三日
趣旨ニ依リ及
大



6010
本年五月三日同十日會報
趣旨ニ依リ及回付候也
三白ナキ大
臣官房

海軍大臣、御協議案

戦時若し、事変に際し表彰すべき功績アルモノ傷痍疾
 病罹り死没シタル場合ニテハ文武官叙位進階内
 則ニ定ムル所ノ一定ノ年限ニ拘ラズ官等相当ノ位記
 賜ヒ又ハ位一級ヲ進メラレ候様致度右異存無之候
 ハ、戦死者贈位并ニ叙位進階内則改正ノ儀別
 府ノ通り貴大臣連署ヲ以テ内閣、請議致度及
 協議候也

陸軍省送甲第二五六號

三月廿日

請議案

戦死者贈位並敘位進階内則中別裁ノ通改正相成
度改正案及理由書ヲ具シテ閣議ヲ請フ

明治廿九年 月 日

海軍大臣

陸軍大臣

内閣総理大臣宛

陸軍省 送甲第三三二六号

四月十日

戰死者贈位並敘位進階内則中改正案

戰死者贈位並敘位進階内則中在通追加

第四條 戰時若ハ事實實際に表彰スル功績有

者死後シタル場合ニ在リテ戰死ノ者叙位ニ準

位階ヲ有セサル者ハ相當位階ニ相當贈位ヲ有スル

者ハ其一級上階ニ叙シ其年月日ヲ記シ

ル位記ヲ追賜スルハ利便ナシ

一 位階ノ有ル者ハ其一級上階ニ叙シ

位記ヲ追賜スルハ利便ナシ

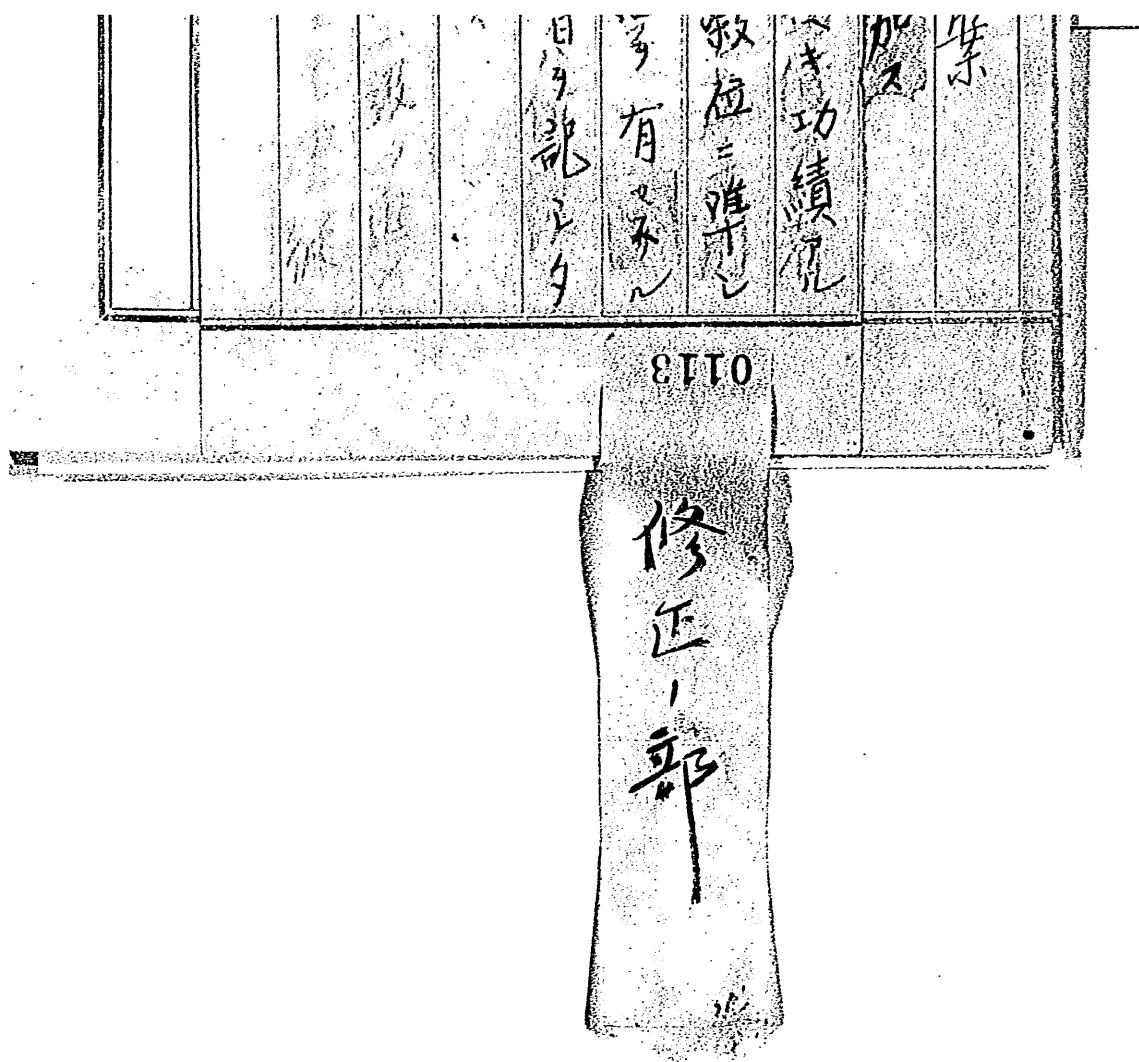
八位ノ有ル者ハ其一級上階ニ叙シ

0112

0110

0113

修正部



戦死者贈位並叙位進階内則中改正案

戦死者贈位並叙位進階内則中左ノ通追加ス

如左第四條 戦時若ハ事変ニ際シ表彰スヘキ功績アル者

ニシテ死歿シタル場合ニアリテハ戦死者^{海軍}準シ左ノ區別

ニ從ヒ生前ノ年月日ヲ記シタル位記ヲ追賜ス

一 将校同ホ当官ニシテホ当位ヲ有スルモノハ位一級ヲ

進ノ位階ヲ有セサルモノハ相当位ニ叙ス

二 准士官下士ニシテ位階ヲ有スルモノハ位一級ヲ進ノ

位階ヲ有セサルモノハ准士官ハ正ハ位ニ下士ハ從

ハ位ニ叙ス

0114

理由書

平時高等官在職滿十年以上ニ亘ルモノ病氣危篤等ノ場合
 ニ在リテハ特ニ進位ノ御沙汰ヲ蒙リ又高等官ハ新任陞等後滿
 一ヶ月ヲ判任文官及陸海軍准士官下ニ其在職各々一定ノ年限
 ヲ経過シ勤勞アルトキハ又々叙位ノ御沙汰ヲ蒙ルニ至ル是レ誠ニ
 聖旨ノ旨ヲキニ感スル所ナリト雖位階ノ授與尙現制ノ儘ナルニ
 於テハ戰時若ハ事變ニ際シ功績アルモノ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病
 ニ罹リ俄タニ危篤ニ陥リ叙位若クハ進位奏請ノ暇ナリ此段シタル
 場合ニ於テハ平時ニ在リテハ如上ノ恩典ニ浴シ得ヘキモノモ戰時事
 變中ニ在リテハ反テ平時ニ倍々捷スルノ功績アルニモ拘ラス是等ノ恩

典ニ注スル能ハス又、特種ノ功績ニ依リ生前特ニ新任陞等ノ御
 沙汰ヲ蒙リ死後シタル高等官モ一是ノ月日ヲ経過セサルノ故ヲ
 以テ終ニ官等相當ノ位階ニ叙賜セラル、一能ハサルハ誠ニ平時
 ニ比レ權衡ヲ失シ表彰スヘキ功績アル者ニ對シ慨然ニ堪ユサ
 ル所ナリトス依テ此際戦死者贈位并ニ叙位進階内則ヲ改シ
 レ戦時若クハ事変ニ際シ表彰スヘキ功績アルモノ傷疾ヲ受若
 クハ疾病ニ罹リ死シタル場合ニ在リテ文武官叙位進階内則
 ニ是ル所ノ年限ニ拘ラス、一官等相當ノ位階ヲ賜ヒ又ハ位一級ヲ進
 メラレ侯様改正相成尚令回ノ戦役ニ従事シ死シタル者ハハ
 戦役ノ当初ニ朔リ又々叙位若クハ進位ノ御沙汰ヲ蒙リ度



賞賜第一の五號、二

送甲第二五五号ヲ以テ戦死者贈
位並ニ叙位進階内則中改正、義
付協議之趣了承果存無之候條以
段及目各候也

明治三十九年三月二十七日

海軍大臣齋藤

陸軍大臣寺内毅殿



三月廿日

陸軍部

特勅 二五〇號

十月五日

官房第一〇八號

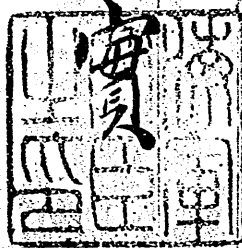
十月五日

恩賞

送甲第九十九號ヲ以テ國々相成候
戦死者贈位并叙位進階内則中政
正一件異存世之件本内閣へ提出
候條此段及通牒候也

明治三十九年十月五日

海軍大臣 齋藤



陸軍大臣 寺内正毅 殿

0120 0119



陸軍省
文書
第三八九號



特勅第三四七二號

十月九日

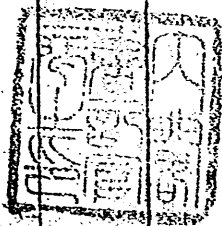
奏

陸軍部 第二九四號

戦死者贈位並敘位進階内則中改正ノ
件別紙ノ通上奏裁可相成候間此般
及御通牒候也

明治三十九年十一月九日

内閣書記官長法学博士石渡敏一



陸軍次官石本新六殿

0119 0120



戦死者贈位並叙位進階内則中左ノ通
追カス

第四條 戦地ニ在テ死歿シ功績アル者
ハ文武官叙位進階内則ノ規定ニ準
據シ生前ノ年月日ヲ記シタル位記
ヲ追賜ス但シ同第二條ヲ準用スル
場合ニ於テハ一箇月ノ経過ヲ要セ
ス

第五條 第一條第二條ノ規定ハ金鷲勲

章又ハ旭日勲章ヲ敘賜シ其功績ヲ表
 彰シ得ル場合ニハ之ヲ適用セス但シ既
 ニ金鷄勲章敘賜條例又ハ敘勲内則
 ノ定限ニ達シタル功級又ハ旭日勲章
 ノ勲等ヲ有スル者ニ付キテハ此ノ限
 ニ在ラス

聞

至急

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp/>

大監ヨリ海軍大監へ移牒案

戦死者贈位並叙位進階内則中改正ノ件上
奏裁可濟之旨別紙寫ノ通内閣書記官長
ヨリ通牒有之候条及移牒候也

陸軍省 送印第二一五二號

十月十三日

0125

戰死者贈位並敍位進階内則

内閣書
記官室閣第一六八號

別紙戰死者贈位並敍位進階内則上奏裁可ヲ
經候ニ付及御通牒候也

内閣總理大臣臨時代理

明治三十年四月十七日 樞密院議長 黒田清隆

陸軍大臣 高島鞆之助殿

(別紙)

戰死者贈位並敍位進階内則

第一條 武功拔群將來軍人ノ龜鑑ト爲リ其美名ヲ後世ニ

戰死者贈位並敍位進階内則

表彰スヘキ戦死者ハ左ノ區別ニ從ヒ贈敘ノ位記ヲ賜フ
 一、將官同相當官ニシテ殊勳ニ位シ金鵄勳章ヲ敍賜シ又
 ハ授爵セラル、ニ該當スルモノハ其功績ノ程度ニ依
 リ正四位以上ニ贈敘ス
 二、佐官同相當官ニシテ殊勳ニ位シ金鵄勳章ヲ敍賜スル
 ニ該當スルモノハ正四位以下從五位以上ニ贈敘ス
 三、尉官同相當官ニシテ殊勳ニ位シ金鵄勳章ヲ敍賜スル
 ニ該當スルモノハ正五位若クハ從五位ニ贈敘ス
 四、准士官下士及兵卒ニシテ金鵄勳章敍賜條例第七條ニ
 該當スル殊勳アルモノハ從五位ニ贈敘ス
 第三條 武功顯著金鵄勳章又ハ旭日勳章ヲ授ケ其功績ヲ

表彰スルニ該當スル戦死者ハ左ノ區別ニ從ヒ生前ノ年
 月日ヲ記シタル位記ヲ追賜ス
 一、將校同相當官其功績ノ程度ニ從ヒ現敘ノ位階ヨリ一
 級若クハ二級ノ上階ニ敘ス
 二、將校同相當官ニシテ位階ヲ有セサルモノハ其功績ノ
 程度ニ從ヒ相當位若クハ其一級上階ニ敘ス
 三、准士官功績ノ程度ニ從ヒ正七位以下ニ敘ス
 四、下士ハ功績ノ程度ニ從ヒ從七位以下ニ敘ス
 五、兵卒ハ功績ノ程度ニ從ヒ正八位以下ニ敘ス
 第三條 公務ニ基因シ戦地ニ在テ死亡シタルモノハ戦死
 者ニ準ス

(参考)

紋位進階内則及贈位並紋位進階内則便覧表

● 贈位
● 追賜

位		階		官	
正位	正位	正位	正位	大	官
七	五	三	二	親任官待遇	等
七	五	三	二	大	將
九	五	五	三	中	將
一	二	五	五	少	將
一	四	五	五	大	佐
一	四	五	五	中	佐
一	四	五	五	少	佐
一	四	五	五	大	尉
一	四	五	五	中	尉
一	四	五	五	少	尉
一	四	五	五	准士	官
一	四	五	五	曹	長
一	四	五	五	軍	曹
一	四	五	五	伍	長
一	四	五	五	兵	卒

備考

本表中小尉以上ノ數字ハ進階ノ年數ヲ初ハ初紋相當位ヲ示ス、准士官以下ノ數字ハ進階及初紋ニ要スル年數ヲ示ス

0129

閱

至急

軍事課聯帶

大官房		主務局課		裁決	大臣	件名	受領番
了結	受領	提出	受領				號
明治 三月十九日	明治 三月十九日	明治 廿九年十一月十二日	明治 廿九年十一月十二日			戰死者贈位並敘位進階内則中改正ノ件	自 三 九 九
聯帶局長				參事官	次官	廳名	人事局
							
聯帶課長				主務課長	主務副官	主計	
							
審案筆者							
							

次官ヨリ各師團及旅長官へ内達案(乙)

戦死者贈位並叙位進階内則中改正ノ件上奏
裁可濟ノ旨別紙ノ通り内閣書記官長ヨリ通
牒有之候條此旨内達ス

陸軍省
送達

送乙第二二一ノ號

十月二十日

高級副官ヨリ同上副牒

今般(乙)ノ二二ハ号ヲ以テ戦死者贈位若ハ叙位
進階内則中改正ノ件内達相成候處右ニ諒當
スルモノハ便宜當省ニ於テ調査取計候ニ付此際
別ニ稟申ニ不及義ト御取知相成度

追テ爲参照戦死者贈位並叙位進階内則別

1810

冊更ニ及送付候

送付
達官

送乙第二二一九號

十月二十日

三好

陸軍

別載

内閣書記官長 岡田 武 二九四号

戦死者贈位並叙位進階内則中改正ノ件別
氣ノ通上奏裁可相成矣同此段及通通際
矣也

明治三十九年十一月九日

内閣書記官長 法学博士 戸渡 敏一

陸軍次官 戸本 新六殿

(別載)

戦死者贈位並叙位進階内則中左ノ通追加

又

第四條 戦地ニ在テ死歿シ功績アル者ハ文武
官叙位進階内則ノ規定ニ準據シ生前ノ
年月日ヲ記シタル位記ヲ追賜ス但シ同第
二條ヲ準用スル場合ニ於テハ一箇月ノ経
過ヲ要セス

第五條 第一條第二條ノ規定ハ金鵄勲
章又ハ旭日勲章ヲ叙賜シ其功績ヲ表
彰シ得ル場合ニハ之ヲ適用セズ但シ既ニ
金鵄勲章叙賜條例又ハ叙勲内則ニ定
限ニ達シタル功級又ハ旭日勲章ノ勲等
ヲ有スル者ニ付キテハ此ノ限ニ在ラス